

(様式 1-3)

福島県（浪江町）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成30年7月時点

NO.	149	事業名	農山村地域復興基盤総合整備事業 (復興整備実施計画) 加倉地区	事業番号	(5)-40-77
交付団体	福島県		事業実施主体 (直接/間接)	福島県 (直接)	
総交付対象事業費	32,000(千円)		全体事業費	32,000(千円)	
帰還環境整備に関する目標					
<p>避難指示区域のある浪江町において、大震災以前は、地域農業者を中心に農業用施設並びに農用地の保全管理が行われてきたが、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、農業用施設を管理する地域農業者が減り、従前のような適切な維持管理が不可能となり、施設の劣化や機能低下が進んでいる。特に農用地については7カ年に渡り作付けを休止しているため荒廃が進んでいる。</p> <p>よって、本事業を導入することにより、被災農家を含めた地域住民の帰還の促進や担い手農家への農地利用集積を図り、農村地域の再生加速化を目指すものである。</p>					
事業概要					
<p>本地区は、上述のとおり営農再開が困難な状況となっている。しかし、担い手をはじめ多くの農家は営農再開意欲が強く、この機会に基盤整備を行うことで、ほ場の大区画化等による農業生産性の向上、農業の協業化、担い手への農地集積を促進し、地域の復興再生に資することを目的とする。</p> <p>このため、農地整備事業を実施すべく、実施計画策定を行う。</p> <p>また、ハード事業については、農山村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）を予定している。</p> <p>受益面積 A=49ha（加倉（かくら）地区）</p> <p>【浪江町第二次復興計画】</p> <p>施策6（農林漁業の再興）－（1）新たな環境基盤による営農再開</p> <p>復興組合を中心とした農地保全及び地域担い手の育成を進めるとともに、徹底的な話し合いのもと、農地の利用集積によるほ場整備等を推進。</p> <p>【福島県復興計画】</p> <p>6 農林水産業再生プロジェクトー2 農業の再生ー④震災により深刻な影響を受けている地域農業の復興に向けた農地の利用集積の促進・⑤農地・農業用施設の復旧と合わせた大区画ほ場の整備</p>					
当面の事業概要					
<p><平成30～31年度></p> <p>事業計画策定（現況調査、用排水系・道路検討、効果算定、換地等調整等）</p>					
地域の帰還環境整備との関係					
<p>農用地及び農業用施設の維持管理が不可能となり、施設の劣化や機能低下が顕著であるため、再生加速化の目標達成に向け、本事業の導入による農業生産基盤の整備を行う必要がある。</p>					
関連する事業の概要					

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	